

# 地域づくり活動の行動計画



2024年度

地域緩和ケア連携調整員研修 ベーシックコース

山形県立新庄病院 医局	長瀬 輝顕(医師)
山形県立新庄病院 薬剤部	小林 由佳(薬剤師)
山形県立新庄病院 看護部	斉藤 優子(看護師)

# ① 選定した地域の課題

## ◎医療資源が乏しい地域である

- ・往診対応医療機関1か所、往診専門医療機関0など・・・
- ・病院を含む医療従事者不足

## ◎地域住民の意識⇒『なにかあったら病院』

- ・PFMシステムが稼働していない
- ・在宅療養に関する地域住民の知識不足
- ・病院に患者が集中し、病院業務が多忙



# ② どんな地域を目指すのか

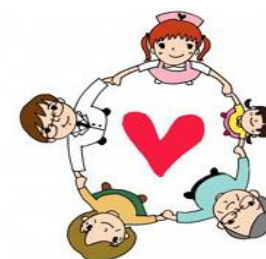
シームレスな連携で自分の生活したいところで過ごせる地域



### ③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

#### ◎ 地域の医療機関との連携

- ・遠隔診療を用いた在宅支援
- ・地域とのワークシェア

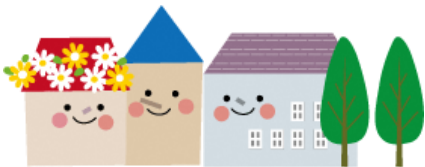


#### ◎ 在宅療養に関する地域住民への普及、啓発



## ④ 具体的な行動計画

- 1) 保健所長・地区医師会長へ相談に行く(住民への啓蒙も含む)
- 2) 訪問看護ステーションと連携した地域体制の整備
- 3) 少ない医師の有効利用のために遠隔診療の整備
- 4) 現時点での地域の開業医訪問診療可能地域の把握・開業医の減少率や年齢の把握
- 5) 病棟稼働率の安定に向け、PFMシステムの整備及び具体的な数字を算出し、病院事業局へ予算要求を提出する



## ⑤ 目標達成時期

1) 1か月以内

2) 1年以内(現在動き始めている)

3) 3年程度

4) 6か月以内

5) 計画は1年以内、令和7年8月中に、地域の訪問看護ステーションを利用したPFMの形を提示し、そこに緩和を組み込む

